

日本映画上映会の御案内

2015年3月5日

2012年より、在南アフリカ共和国日本大使館とプレトリア大学日本研究センターは、当地における日本文化の更なる発信を目的とし、定期的に日本映画上映会を実施してきました。

2015年1月に日本研究センターがプレトリア大学ビジネススクールからプレトリア大学本校へ拠点移転後、初めてとなる日本映画上映会（通算では第16回目）を、4月11日（土）午後2時より、プレトリアにおいて実施することとなりました。

上映作品は日本語音声・英語字幕です。入場は無料です（4. 無料チケットについて参照）。

なお、会場ではDVDを校内の視聴覚機材を使用してスクリーンに映し出す方式を採用するため、一般の商業映画館での映画上映とは雰囲気が異なりますことを御了承ください。

1. 日時

4月11日（土）午後2時

2. 会場

プレトリア大学ハットフィールド・キャンパス

ITビルディング 2-27教室

(IT Bldg 2-27, University of Pretoria,

Lynnwood Road, Main Campus)

※従来、上映会を実施しておりましたプレトリア大学ビジネススクールとは場所が異なりますので、ご注意ください。



©2008 「大阪ハムレット」製作委員会

3. 上映作品（日本語音声・英語字幕）

「大阪ハムレット」（2008年、107分、制作「大阪ハムレット」制作委員会）

監督：光石富士朗

出演：松坂慶子、岸部一徳、久野雅弘 ほか

あらすじ：

「大阪ハムレット」は少年アシベなどで知られる漫画家・森下裕美氏による同名漫画を原作とした実写映画です。原作は短編集となっていますが、映画ではそれらをヒューマンコメディとして再構成しています。

久保家の大黒柱であるお母ちゃん・房子はいつも笑顔で頑張り屋。昼は病院でヘルパー、夜はスナックで働きながら3人の息子を育てています。ある日お父ちゃんが突然死んでしまいます。なぜか笑いの絶えないお葬式の日、お父ちゃんの弟と名乗るおっちゃんがやってきました。おっちゃんはそのまま家に住み着いてしまいます。一方久保家の長男・政司は、年上の女性・由加とひよんなことから知り合いになります。まだ中3にも関わらず大学生のような老けた見た目を持つ政司は、歳を偽って由加と付き合うようになりました。中1の次男・行雄は、担任教師から「久保君はハムレットやなあ」と言われ激怒します。無知な行雄は「ハムレット」を知らず「ハムスターに似ている」と言われたと勘違いしたのです。気になった行雄は「ハムレット」を図書館で借り、辞書を片手に読み始めます。そのうち自分の顔が全く父親と似ていないことに気づき、自身の出生に疑問を持ち始めるのです。そんな中、お母ちゃんが誰かの子供を妊娠していることが発覚。行雄の悩みはさらに増えていくのです。三男の宏基は小学生。「将来の夢は女の子になること」と学校で発表してしまい、友達にからかわれてしまいます。深く傷ついた宏基を慰めてくれたのは病気で入院中の叔母・あきでした。あきの言葉に励まされた宏基でしたが、しばらくしてあきは亡くなってしまいます。そんなある日宏基は学芸会の演目「シンデレラ」で、周囲に推薦されてシンデレラ役を演じる事になりました。お母ちゃんはおきの服を仕立て直して衣装を作ってくれますが、宏基は周囲の冷たい視線に再び心折れそうになってしまい…。

4. チケットについて

入場は無料ですが、席に限りがありますので、先着順とさせていただきます。

チケットの申し込みは、日本大使館広報文化センターの e-mail アドレス (info@pr.mofa.go.jp) にて受け付けております。チケットはお一人様4枚まで申し込み可能です。申し込み締切は3月30日(月)とさせていただきます。

5. お問い合わせ先

在南アフリカ日本大使館 文化班 藤生
TEL: 012-452-1500 FAX: 012-460-3880
Email: shoji.fujiu@mofa.go.jp